

神戸公民館だより 2月号



〒793-0054 西条市中野甲 566-4
TEL(0897)56-2160 FAX(0897)53-9015
E-mail kanbe-k@saijo-city.jp

※QRコードからカラー版がご覧になります

令和8年2月1日
神戸公民館発行

校区の人口（前月比）
人口 3,315人(-4)
男 1,584人(-3)
女 1,731人(-1)
世帯数 1,540戸(-3)
R7.12.31 現在

神戸校区自主防災会「組織活性化賞」受賞

愛媛県が主催する、県内の優れた防災の取り組みなどを顕彰する「えひめ自主防災アワード」において受賞しました。
南海トラフ地震発生時においての段階的な避難訓練、国が改善に取り組んでいる災害関連死を防ぐための訓練など
自主防災組織の活性化について、他の模範となる取り組みが高く評価されました。

併せて開催されたパネルディスカッションでは、徳増連合自治会長が登壇し活動内容などが紹介されました。

参加者が熱心に聞き入る様子が随所に見られ、災害に対する関心の高さがうかがえました。



お知らせ

体育委員会

開催日：2月12日(木)
時 間：19:00～
場 所：公民館 ホール
内 容：ふれあい運動会について

神戸校区自主防災会研修会

開催日：2月22日(日)
時 間：10:00～12:00
場 所：公民館 ホール
内 容：講演会とシンポジウム

かがやき広場

開催日：2月13日(金)
時 間：9:30～
場 所：公民館 創作室
内 容：創作

提出物のお願い

令和8年度 公民館定期利用登録

令和8年度のサークル利用・団体利用受付を開始します。公民館を利用して活動を希望されるサークル・団体は所定の申請書に必要事項を記入のうえ、受付期間内にお申込みください。
新規に申込みされる場合も同様です。
申請書類は、2月2日(月)から配布します。

提出期限:2月27日(金)

令和8年度 単位自治会役員名簿

令和8年度の名簿のご提出をお願いいたします。
自治会長会(1/15 開催分)でお渡した用紙にご記入のうえ、公民館までご持参ください。
提出期限:3月19日(木)

令和8年度 神戸小学校学校開放登録

令和8年度に神戸小学校グラウンド・体育館の利用を希望される団体は登録・申請をお願いします。8年度から、オンラインでの予約が可能となります。
窓口で登録申請をされる団体は、紙形式による提出申請が必要です。
紙形式の提出期限:2月16日(月)
オンラインシステムで登録申請される団体は、紙形式の提出は必要ありません。
※学校開放利用者の会を、2/16(月)に開催します。

2月のごみカレンダー

神戸地区

日	月	火	水	木	金	土
1	2 もえる ごみ	3	4	5 もえる ごみ	6 もえない ごみ 乾電池	7
8	9 もえる ごみ	10	11 古 紙	12 もえる ごみ	13 もえない ごみ 乾電池	14
15	16 もえる ごみ	17	18 ガラスびん ペットボトル スプレー缶等	19 もえる ごみ	20 もえない ごみ 乾電池	21
22	23 もえる ごみ	24	25	26 もえる ごみ	27 もえない ごみ 乾電池	28

*中寺・大久保・津越・舟形・長瀬地区

	燃えるごみ	燃えないごみ 乾電池	古紙	ガラス瓶ペッ トボトル等
中寺	月・木	第2・4水	第1土	
大久保				第3水
津越 舟形 長瀬	火・金	水	第3土	

年末大掃除のお礼

公民館を利用されている団体・サークルの皆さん、年末大掃除に参加いただきありがとうございました。

とてもきれいになり、気持ちを新たにリフレッシュできました。

みなさんのご協力に感謝します。

そして、今年も一緒に活動できますことを楽しみにしていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2月の行事予定

日	曜	行 事
1	日	休館日
6	金	民生児童委員定例会 19:30～(研修室)
7	土	休館日
8	日	休館日
10	火	神戸防災士定例会 19:30～(研修室)
11	水	休館日(建国記念の日)
12	木	体育委員会 19:00～(ホール)
13	金	かがやき広場(高齢者カフェ) 9:30～(研修室)
14	土	休館日
15	日	休館日 環境奉仕グループ『かじか』(2月はお休みします)
16	月	学校開放利用者の会 19:00～(研修室)
17	火	交通安全協会定例会 19:00～(研修室)
18	水	ふれあい広場 10:00～(神戸小学校 体育館)
21	土	休館日
22	日	神戸校区自主防災会研修会 10:00～(ホール)
23	月	休館日(天皇誕生日)
28	土	休館日

愛カワフ工を開催します

開催日：2月19日(木)
時 間：10時～12時
場 所：公民館 研修室
内 容：笑いヨガ&脳トレ

どなたでも
ご参加いただけます。申込不要です。
問い合わせ先
地域包括支援センター西条南部
☎ 0897-55-0630

令和7年度

婦人会理事会のお知らせ

【日時】3月21日(土) 19:00～

【場所】公民館 ホール

【持参物】令和8年度 理事名簿

令和7年度の理事の方へ案内状を郵送しますので、令和7年度の理事の方の
ご出席をお願いいたします。

令和8年度

サークル活動募集のお知らせ

公民館では、地域の皆さんによるサークルの活動を募集しています。文化・スポーツ・趣味など、日頃の活動の場として、地域交流、仲間づくりの拠点に公民館をぜひご活用ください。

【申込方法】公民館窓口

【お問合せ】神戸公民館 TEL:56-2160

※5名以上でお申ください

● ● ● ~ますます神戸が好きになる~ ● ● ●

12/19 しめ縄づくり

神戸小学校6年生の児童と、長寿会、ボランティアの方々によるしめ縄づくりが行われました。長寿会の皆さんに教えていただきながら、児童たちは伝統的なしめ縄づくりに挑戦しました。お手本を示し、一本一本縄を編み上げていく熟練した手さばきに、子どもたちは「すごっ！」と見入っていました。一緒に手を動かしながら温かいご指導をいただき、世代を超えた交流の中で受け継がれてきた文化に触れる貴重な機会となりました。



12/20 放課後子ども教室「クリスマス会」

今年はシャッフルボードとモルックで大盛り上がり！シャッフルボードでは真剣にディスクを滑らせ合い、モルックでは力加減を考えながらスキットルをねらい、歓声を上げたり、惜しむ様子を見せたりしながら点数を競い合いました。初めて挑戦する子どもたちも多くいましたが、息のあったチームワークが光り笑顔がいっぱいでした。



12/19・1/16 女性学級「編み物教室」

1回目が好評だったので、2回目、3回目を開催しました。2回目は柔らかさとボリューム感が特徴的な毛糸を使ってマスコットを作りました。参加された方は、完成した作品を目の前に思わず「かわいい！」と何度も口にしながら、とても嬉しそうでした。3回目は、コースターを作りました。

リラックスしながらの編み作業は、穏やかな時間を過ごされたようでした。



2回目の作品



3回目の作品

12/26 婦人会女性学級「フラワーアレンジメント」

縁起が良いとされる「葉ボタン」や、新年を迎えるにふさわしい季節の花材を使って行されました。近藤先生から、花の組み合わせ方や色のバランス、花材の特徴など丁寧な説明のあと参加された方は、長さや高さ、色合いの調和を考えながら作り、個々の感性を生かした素敵な仕上がりとなりました。



12/26 神戸小学校「地域未来塾」

教員OB等による学習支援を行う取り組みです。冬休みの宿題をしたり、わからないところは質問したりと、一人一人に充実した指導ができ、児童も理解を深めていました。また、友達同士で教えあったりする姿も見られ、学習だけでなく協力する心を育む場となりました。



「二十歳の集い」～未来へ一歩～



1月11日(日)総合文化会館にて「二十歳の集い」が開催されました。会場には笑顔あふれる二十歳を迎えた若者が集まり、晴れやかな雰囲気のなか式典が開催されました。参加者は、これからの社会や地域での活躍に向けて決意を新たにした様子でした。

二十歳になられたみなさま、おめでとうございます。皆さまの今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

人権を考える

自分事と差別意識（「人権問題に関する市民意識調査」より）

（問25）家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶとき、価格や立地条件などが希望通りであっても、被差別部落の地域内の条件の場合、避けることがあると思いますか。

（「令和6年度人権問題に関する意識調査」から）

右記の結果は、「土地差別」についてのものです。

44%の方が「まったく気にしない」または「どちらかといえば避けない」と回答しています。また、22%の方が「どちらかといえば避ける」と回答しています。

差別は「する側」の問題であり、差別をする人がいなければ、差別は起きないです。しかし、差別をすることに対していろいろ理由をつけて、「差別することはいけないけれど仕方がない」とか「〇〇なので、差別する」といったことが言われることがあります。これを、「差別を正当化する」と言います。

本来「差別をする理由」など全くないです。それでも、「〇〇は、昔から〇〇と言われているから」と理由をつけるのです。「それ、本当ですか？」と尋ねると、正しく答えられないのです。なぜなら、すべて「根拠がないこと」、すべて「偏見」であること、すべて「事実でないことで、伝えられてきたこと」などを、正しいと考えている場合がほとんどだと思われます。

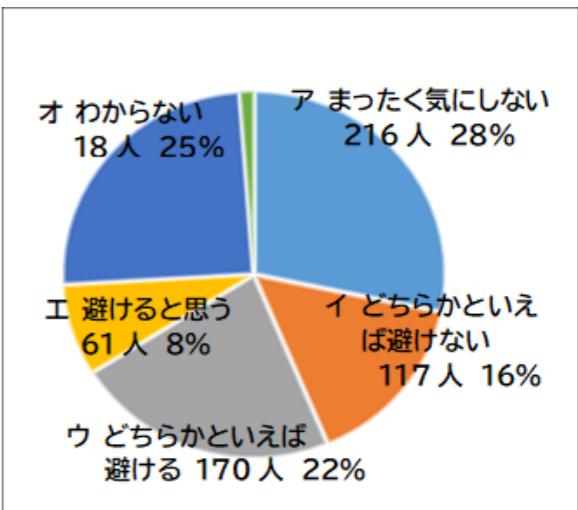
偏見：あるものに対する偏ったものの見方や考え方。

この見方や考え方には「嫌い」「不安」「敵意」「軽蔑」といった感情が加わる。

偏見をなくすためにはどうすればいいのでしょうか。

まず、自分を冷静にしかも客観的に振り返り、他人事ではなく自分事として受け止める（または、「相手と自分をおき換え頭の中で想像してみる）ことが大切です。

そして、自分の中に差別する意識（心）があることを認めることにより、すべて「偏見」「根拠のないいこと」「事実でないこと」であることが分かつてくると思います。そんなことで、人を差別したり、人の心を傷つけたりしているとわかってくるでしょう。



講演会では、講師の先生が、自分が被差別部落出身者であることを告げたうえで、自らが受けた差別についてしっかりと口調で語っていました。それはわたしの予想していた内容とは全く違うものでした。（中略）

講師の先生の話にすっかり引き込まれたわたしは「すごいなあ」と憧れのような感情を抱いていました。すると講師の先生が「ぼくのふるさとをすてきだなあって思ってくれた人？」と言うのでわたしは迷わず手を挙げ周りを見ると、多くの人が同じように感じていたのでした。すると講師の先生が言うのです。「じゃあ、ぼくのふるさとに住んでみる？」。わたしは頭の中が真っ白になり、何も考えられずにいると、講師の先生は優しくゆっくりと語り始めました。「みんなが、結婚差別に怒りを覚えたり、ぼくのふるさとをすてきだと感じてくれたことは本当にうれしい。でも、自分が住むってなった瞬間、自分事として考えたんだよね。大事なのは、ここだよ」と、胸に手を当ててました。

引用元：(シリーズじんけん No.531 「自分の中にある差別心」 大都市人権教育推進課 より抜粋)